

## 2017年度前期末試験問題・微分積分Ⅲ(DC3)

注意：答のみの問題で、問題番号を囲む括弧は数式上必要な括弧を兼ねていない。例えば

$x^2+2x-3=(1)(x-1)$  となっていたら (1) の正解は  $(x+3)$  であり、 $((1))(x-1)$  となっていたら正解は  $x+3$  である。また、不必要な括弧をつけた解答も減点もしくは0点とする。

1. 次の各問いに答えよ。ただし、答のみ。(25点)

(1) 関数  $f(x, y) = 8x^3 - 6xy - y^3$  について、次の問いに答えよ。

[1] 停留点の座標を求めよ。 [2]  $D(x, y) = f_{xx}f_{yy} - (f_{xy})^2$  を求めよ。

[3] 極値と、それを取る点の座標を求めよ。

(2) 次の方程式で与えられる  $x$  の関数  $y$  を微分せよ。

[1]  $\sqrt{x} + \sqrt{y} - 1 = 0$  [2]  $x^3y^3 + y - x = 0$

(3) 方程式  $\cos(xyz) = 1$  で与えられる  $x, y$  の関数  $z$  について、次のものを求めよ。

[1]  $z_x$  [2]  $z_y$  [3]  $z_{xx}$  [4]  $z_{xy}$  [5]  $z_{yy}$

(4) 曲面  $x \log y - \log z = 0$  上の  $x=1, y=e$  に対応する点における接平面の方程式を求めよ。ただし、 $ax+by+cz+d=0$  の形 ( $a, b, c, d$  は定数) で答えよ。また、簡単に求められる関数値は求めたものを答えよ。

(5) 条件  $x^2+y^2=4$  のもとで関数  $f(x, y) = x+4y+1$  を考えるとき、次の問いに答えよ。

[1] この条件のもとで  $f(x, y)$  が極値を取りえる点の座標を求めよ。

[2] この条件のもとで  $f(x, y)$  の最大値と、それを取る点の座標を求めよ。

[3] この条件のもとで  $f(x, y)$  の最小値と、それを取る点の座標を求めよ。

2. 次の各問いに答えよ。ただし、答のみ。(20点) (注意：(2)の[2]は1つにまとめよ)

(1) 次の2重積分の値を求めよ。

[1]  $\iint_D xy \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid 0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq \sqrt{x} \}$

[2]  $\iint_D x^2y \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid x \geq 0, y \geq 0, x^2+y^2 \leq 1 \}$

[3]  $\iint_D xy^2 \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid 0 \leq y \leq 2, 0 \leq x \leq \sqrt{4-y^2} \}$

[4]  $\iint_D y \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid y \geq 0, x^2+y^2 \leq 9 \}$

[5]  $\iint_D \sin \sqrt{x^2+y^2} \, dx dy, D = \{ (x, y) \mid x^2+y^2 \leq \pi^2 \}$

(2) 次の累次積分の積分順序を変更せよ。なお、被積分関数は連続とする。

[1]  $\int_0^4 \int_{\sqrt{y}}^2 f(x, y) \, dx dy$  [2]  $\int_0^1 \int_0^1 f(x, y) \, dy dx + \int_1^2 \int_0^{2-x} f(x, y) \, dy dx$

(3)  $I = \int_0^{\sqrt{3}} \int_1^{\sqrt{4-x^2}} \frac{x}{\sqrt{x^2+y^2}} \, dy dx$  に関する次の計算の [ ] に入る最も適切な答えを解

答用紙に書け。

(ここから) 積分順序の変更を行うと, 
$$I = \int_1^2 \int_0^{[1]} \frac{x}{\sqrt{x^2+y^2}} dx dy = \int_1^2 \left[ [2] \right]_0^{[1]} dy$$

$$= \int_1^2 ([3]) dy = [[4]]_1^2 = [5] \quad (\text{ここまで})$$

3. 曲面  $z = x^2 + 2y^2$  と平面  $x + y = 1$  および 3 つの座標平面で囲まれる立体の体積  $V$  を求めよ。  
(5点)

4.  $F(x, y) = x^4 - 2y^3 - 2x^2 - 3y^2 + 1$  と置くと、 $F(x, y) = 0$  で定まる  $x$  の関数  $y = y(x)$  について、次の各問いに答えよ。なお、このとき、 $\frac{d^2y}{dx^2} = -\frac{F_{xx}F_y^2 - 2F_{xy}F_xF_y + F_{yy}F_x^2}{F_y^3}$  が成り立つことは用いてよい。ただし、(2) は答のみ。(13点)

- (1)  $F(x, y) = 0$  の特異点、即ち  $F_x = F_y = 0$  となる点  $(x, y)$  を求めよ。
- (2) 特異点以外の点で  $y(x)$  が極値を取り得る  $x$  の値、およびその時の  $y$  の値を求めよ。
- (3)  $y(x)$  の極値とそれを取るときの  $x$  の値を求めよ。なお、特異点での極値判定は行わなくてよい。

5.  $I = \iiint_K xy \, dx dy dz$ ,  $K = \{(x, y, z) \mid x^2 + y^2 + z^2 \leq R^2, x \geq 0, y \geq 0\}$  に関する次の計算の括弧に入る最も適切な答えを解答用紙に書け。なお、 $R$  は正定数とする。ただし、答のみ。(12点)  
注意：[ ] には数値が入る。

(ここから) 球面座標に変換する。即ち、 $x = r(1) \cos \phi$ ,  $y = r(2)$ ,  $z = r \cos \theta$  とすれば

$K$  は  $\tilde{K} = \{(r, \theta, \phi) \mid 0 \leq r \leq R, 0 \leq \theta \leq [3], 0 \leq \phi \leq [4]\}$  となり Jacobian は

$$J = \frac{\partial(x, y, z)}{\partial(r, \theta, \phi)} = (5) \text{ となるから}$$

$$I = \iiint_{\tilde{K}} (6) \, dr d\theta d\phi = \left( \int_0^R (7) \, dr \right) \left( \int_0^{[3]} (8) \, d\theta \right) \left( \int_0^{[4]} (9) \, d\phi \right)$$

ここで  $\int_0^{[3]} (8) \, d\theta = [10]$ ,  $\int_0^{[4]} (9) \, d\phi = [11]$  だから、 $I = (12)$  (ここまで)

6.  $I = \iiint_K \tan^{-1}(x+y+z) \, dx dy dz$ ,

$K = \{(x, y, z) \mid 1 \leq x+y+z \leq \sqrt{3}, x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0\}$  について、次の各問いに答えよ。  
(12点)

(1) 変数変換  $\begin{cases} x+y+z=u \\ y+z=uv \\ z=uvw \end{cases}$  ... ① に関する Jacobian  $J = \frac{\partial(x, y, z)}{\partial(u, v, w)}$  を求めよ。

(2) ①の変換によって  $K$  は  $\tilde{K} = \{(u, v, w) \mid 1 \leq u \leq \sqrt{3}, 0 \leq v \leq 1, 0 \leq w \leq 1\}$  となるこ

とを用いてよいので、変換①を用いて  $I$  を求めよ。指示に従わない解答には点を与えない。

注意：逆三角関数の値は求めよ。

7. 次の各問いに答えよ。ただし、答のみ。(13点)

(1)  $a$  を正定数とするとき三角錐

$$K: x+y+z \leq a, x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0$$

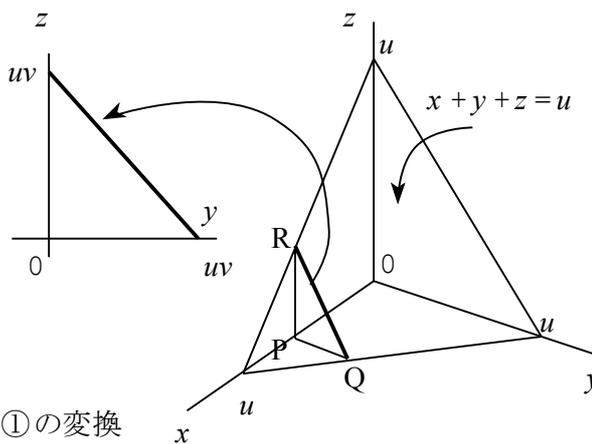
の体積  $V$  を重積分を用いて求める次の

計算の [ ] に入る最も適切な答えを

解答用紙に書け。

(ここから)  $V = \iiint_K dx dy dz$  であるが問題 6 の①の変換

を用いれば  $V = \int_0^a \int_0^1 \int_0^1 [1] dw dv du = [2]$  (ここまで)



$$P(u(1-v), 0, 0)$$

$$Q(u(1-v), uv, 0)$$

$$R(u(1-v), 0, uv)$$

(2)  $M = \{ (x, y, z, s) \mid x+y+z+s \leq a, x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0, s \geq 0 \}$  ( $a$ : 正定数)

について、 $I = \iiint\int_M s^2 dx dy dz ds$  を求める次の計算の [ ] に入る最も適切な答えを解答用紙

に書け。

(ここから)  $0 \leq s \leq a$  なる  $s$  に対して  $M$  と超平面  $s=s$  との共通部分を  $xyz$  空間に射影した立体を

$K_s$  とする。即ち、 $K_s = \{ (x, y, z) \mid x+y+z \leq [1], x \geq 0, y \geq 0, z \geq 0 \}$  となる。従って

$I = \int_0^a s^2 \left( \iiint_{[2]} dx dy dz \right) ds$  となる。(1) の結果から  $\iiint_{[2]} dx dy dz = [3]$  だから

$$I = \int_0^a s^2 [3] ds \stackrel{\text{ア}}{=} \frac{a^6}{6} \int_0^{[4]} [5] dt = [6] \int_0^{[4]} (1-t)^5 dt = [7]$$

(ア:  $s=at$  と置く) (ここまで)